

## 【NEWS RELEASE】

2018年10月1日

各 位

株式会社三井住友銀行

住友化学株式会社に対する「ESG/SDGs評価」に基づく  
初のシンジケート・ローンを実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、本邦金融機関初の取組として、住友化学株式会社（代表取締役社長：十倉 雅和）に対し、「ESG/SDGs評価シンジケーション」における「ESG/SDGs評価」に基づくシンジケート・ローンを組成致しました。

本件は、株式会社日本総合研究所（代表取締役：瀧崎 正弘）と弊行が作成した基準に基づき、住友化学株式会社に対して行った「ESG/SDGs評価」の趣旨に賛同頂いた金融機関によって組成されるシンジケート・ローンとなります。

今回対象となりました、住友化学株式会社に対する取組に対する評価結果は、環境側面（E）・社会側面（S）及びガバナンス側面（G）すべてにおいて非常に高い水準であると判断され、サステナビリティに向けた企業経営において、大変優れた取組と情報開示を実施されているとの評価になりました。

特に、ESG及びSDGs達成に向けた取組では、以下の内容が高く評価されました。

E：自社の事業活動に伴う主な環境負荷を、グループ会社も含めて把握。特にCO2排出量に関しては、企業のサプライチェーン全体に相当する範囲も含めて把握し、排出削減に向けた具体的な取組も実施していること。

S：従業員の働き方改革を推進するため、「働き方改革アクションプラン」を策定。長時間労働の是正等に向けた数値目標を掲げ、IoT活用による業務効率化等の具体的な取組を推進していること。

G：「事業活動を通じて人類社会の発展に貢献」することを経営理念に掲げ、事業活動を通じてサステナブルな社会の実現に貢献することを経営トップが明確に宣言していること。

SDGs：「Sumika Sustainable Solutions」等の社会的課題解決に資する製品を開発し、その普及を通じて気候変動の緩和を実現し、SDGsが示す目標達成に貢献していること。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価シンジケーション」およびFTSE RussellのESG評価を踏まえた情報提供を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

以 上

【シンジケート・ローンの概要】

アレンジャー：株式会社三井住友銀行  
エージェント：株式会社三井住友銀行  
組成金額：222.8 億円  
貸出人：21 金融機関

株式会社伊予銀行  
株式会社京葉銀行  
株式会社滋賀銀行  
株式会社静岡銀行  
株式会社七十七銀行  
株式会社十六銀行  
株式会社常陽銀行  
株式会社長野銀行  
株式会社南都銀行  
株式会社八十二銀行  
株式会社百五銀行  
株式会社百十四銀行  
株式会社武蔵野銀行  
株式会社もみじ銀行  
株式会社山梨中央銀行  
信金中央金庫  
全国信用協同組合連合会  
茨城県信用農業協同組合連合会  
岐阜県信用農業協同組合連合会  
兵庫県信用農業協同組合連合会  
大同生命保険株式会社